

※□の部分は、該当するものにチェックしてください。

収入
印紙
500円

基本事件：令和 〇 年(家ホ)第 〇〇〇 号 離婚等請求事件

※ 訴状と同時に提出する場合には上記事件番号の記入不要

基本事件原告 霞が関 花子

氏名秘匿の場合は、「代替氏名 A」と記載してください。

基本事件被告 霞が関 太郎

秘匿事項記載部分の閲覧等制限の申立書

令和 〇 年 〇 月 〇 日

東京家庭裁判所 御中

氏名が秘匿事項の場合は、「代替氏名 A」としてください。

申立人（基本事件☒原告☐被告）☐代理人 霞が関 花子

上記当事者間の頭書事件につき、申立人は、民事訴訟法 133 条の 2 第 2 項に基づき、閲覧等制限の申立てをする。

申立ての趣旨

本件記録中の別紙秘匿事項記載部分目録記載の部分について、閲覧若しくは謄写、正本、謄本若しくは抄本の交付又は複製の請求をすることができる者を申立人に限るとの決定を求める。

申立ての理由

秘匿決定がされている場合。

- ☒ 1 東京家庭裁判所は、令和 〇 年 〇 月 〇 日付けで、申立人の☒住所・☐氏名・☐ につき、秘匿決定をした（令和 〇 年（家ロ）第 〇〇〇 号秘匿決定申立事件）。

秘匿決定申立てと同時申立ての場合。

- ☐ 1 申立人は、東京家庭裁判所に対し、令和 〇 年 〇 月 〇 日付けで、申立人の☐住所・☐氏名・☐ につき、秘匿決定を申し立てた。

- 2 申立ての趣旨記載の部分には、次の秘匿事項等が記載されている。

秘匿事項が記載されている場合。

☒（秘匿事項）申立人の☒住所・☐氏名・☐ につき、

☒（推知事項）申立人の☒住所・☐氏名・☐ につき、推知することができる事項。なお、推知事項の内容及びそれが推知事項である理由は別紙のとおり。

- 3 よって、申立人は、民事訴訟法 133 条の 2 第 2 項に基づき、申立ての趣旨記載のとおり、閲覧等の制限をされたく、本申立てをする。

推知事項が記載されている場合。

※□の部分は、該当するものにチェックしてください。

(別紙)

秘匿事項記載部分目録

(マスキングした書面を添付して特定する方法)

- ☒ 別添のマスキング部分のとおり
- ※ 秘匿事項記載部分をマスキングした書面を添付する。

(文字で特定する方法)

- ☐ _____
- ☐ _____
- ☐ _____

※推知事項の内容及びそれが推知事項である理由を記載してください。
(推知事項がない場合は、提出は不要です。)

(別紙)

・・・【推知事項の内容及びそれが推知事項である理由を具体的に記載】・・・

・・・・・・・・・・。